

令和元年(平成31年)木曾保健福祉事務所『おもなできごと』

1月 ○たばこによる害のない信州を目指して(1月~12月)

「望まない受動喫煙」をなくすという観点から昨年改正された健康増進法を受け、7月に学校・病院・児童福祉施設等の第一種施設を対象に受動喫煙を防止するための取り組みが始まりました。来年4月には事務所・工場・ホテル・飲食店等第二種施設での施行が予定されています。

県では、受動喫煙防止対策推進のため、終日全面禁煙の施設を「おいしい空気の施設」として認定しています。郡内では、今年新たに5件の施設が認定となり、合計85件になりました。今後も、たばこの害のない社会の推進を図っていきます。

2月 ○「健康と食と農のつどい in 木曾」の開催(2月6日)

今年は、「守りたい木曾の農と味」をテーマに、おいしい信州ふード公使 横山タカ子氏の講演会と高校生等による事例発表会を行いました。昨年に引き続き、木曾赤かぶネット等が主催する「赤かぶ利用コンクール」と並行して実施したことで会場が賑わい、140人以上の参加がありました。



3月 ○「自殺対策研修会」の開催(3月11日)

3月の自殺対策強化月間に合わせて、町村の保健福祉担当者、医療従事者、民生児童委員等を対象に、信州大学医学部附属病院医師を講師に迎え、「産後うつ」をテーマに研修を行いました。今後も、木曾地域唯一の救急告示病院である県立木曾病院との連携を図り、関係機関や地域住民が一体となって身近で気づき・いのち支える地域づくりに取り組んでいきます。

5月 ○「シニア大学木曾学部」に新入生迎える(5月10日)

今年は17名の新入生を迎え入学式が行われました。また、20名が2年生に進級しました。新入生2年間、新たな仲間とともに学びます。



6月 ○「木曾郡ふれあいスポーツ交流会」の開催(6月8日)

木曾地域に暮らす障がいのある方々が、スポーツを通じて交流する「木曾郡ふれあいスポーツ交流会」を大桑村村民体育館及び大桑村スポーツ公園で開催しました。

約90名が参加し、競技やレクリエーションを楽しみました。

8月 ○「木曽地区災害時医療救護訓練」の実施（8月25日）

毎年町村の総合防災訓練に併せ、木曽地区災害時医療救護訓練を実施しています。

今年も、木祖村社会体育館をメイン会場に、村民の皆様を交えての現地訓練を実施しました。木祖村職員による医療救護所の設置・運営、消防団員による住民避難誘導、信州木曽看護専門学校（信州木曽看護専門学校）の学生さんが負傷者に扮し、地元の医師をはじめとするスタッフによるトリアージ及び応急手当、木曽広域消防による救急搬送等を行いました。今回は住民・関係者合わせ約170名の参加のもと、充実した訓練を行うことができました。



9月 ○「高校生の“食”支援講座」の開催（9月2日、3日、4日、17日）

若い世代への生涯にわたる健康づくりのための食習慣の普及や、郷土料理・地域の食文化の伝承を目的に、郡内2高校で7講座を開催し、延べ91名が受講しました。食生活改善推進員の協力を得て長年続けているこの事業を今後も継続し、食文化の継承や健康づくりの推進を図っていきます。



○「犬・猫の飼い方教室」の開催（9月29日）

犬・猫の本能、習性等を理解することで適正な飼養管理への関心を高め、人と動物とが共生できる地域社会を築き、動物愛護思想の普及啓発を図るため、「犬・猫の飼い方教室」を開催しました。飼い主や関心のある地域住民が参加して、犬・猫の習性や正しい飼い方を学び、日常の管理やしつけ、病気、災害への準備等、犬・猫についての理解を深めることができました。



10月 ○「みんなの食品安全・安心会議」の開催（10月3日）

長野食品安全・安心条例の規定により、県民、食品関係事業者及び県の関係者が食品の安全と安心に関する知識と理解を深め、情報共有・相互理解をするための会議を開催しました。会議では、食品事業者から食品の衛生管理についてHACCP（ハサップ）への取組について話を聴きました。その後、参加者が重大な決断を伴うジレンマのある食の問題をクロスロード（意見の分かれ道）ゲームを通じて共に考え話し合いました。最後に意見交換を行い、クロスロードゲームは大変面白いと好評でした。輸入食品、健康食品、遺伝子組み換え食品、食物アレルギー、食品事故に関心があるなど、多様な意見が出されました。

○「県民健康・栄養調査」の実施（10月9日、10日）

この調査は、県民の健康状態や食物の摂取状況、健康に関する意識及び実態を明らかにするために昭和52年から3年おきに実施しているもので、全県を無作為抽出した地区を対象としていますが、木曽管内では木曽町の地区が対象となりました。

調査結果については、今後の県の健康づくり施策に活かしていきます。

○「認知症高齢者対策・高齢者虐待防止講演会」の開催（10月11日）

一層の高齢化が進む中、認知症高齢者をはじめ高齢者への虐待防止対策が重要な課題となっていることから、岡谷市民病院長 天野直二氏を講師に迎え、「認知症の病態とその予防について」講演をいただきました。約80名の方が参加し、認知症に対する正しい理解について考える機会となりました。

11月 ○「第24回木曽地域シニア作品展」の開催（11月12日、13日）

木曽地域の高齢者が、知識・経験・特技を生かし、趣味として制作した作品の展示会を上松町ひのきの里総合文化センターで開催しました。

211名の個人・団体の高齢者から延べ414点の出展があり、来場者から賞賛や「刺激を受けた」という声が多数ありました。

○「社会福祉施設等における感染症まん延防止研修会」の開催（11月19日）

感染症のまん延防止を図るための研修会を実施し、社会福祉施設等の職員約120名の参加がありました。感染症の基本的な知識と嘔吐物の処理方法や手順について、演習を通して確認し、ノロウイルス等食中毒の予防方法など、発生防止、まん延防止について理解を深めました。



◎今年表彰された方々

様々な分野で、業績を高く評価された方々が表彰されました。今後も益々のご活躍をご期待申し上げます。

表 彰	氏 名（敬称略）
叙勲 瑞宝双光章（へき地保健衛生功労）	奥原 佐（おくはら たすく）
厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰（食品衛生）	下條 忠計（しもじょう ただかず）
長野県知事表彰（保健衛生表彰：食品衛生）	田中 克治（たなか かつじ）
長野県知事表彰（保健衛生表彰：栄養改善）	麥島 淨子（むぎしま きよこ）
長野県食生活改善功労者表彰（長野県食生活改善推進協議会長表彰）	青木 ケサ子（あおき けさこ）
長野県薬物乱用対策推進協議会長表彰	角屋 岳人（かどや たけと）

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）推進中

木曽保健福祉事務所 総務課
（課長）真岸 光（担当）齊藤 秀樹
電話：0264-25-2231（直通）
0264-24-2211（代表）内線 2205
FAX：0264-24-2276
E-mail：kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp

世界一の健康長寿を目指す 信州 ACE(エース)プロジェクト推進中



信州 ACE（エース）プロジェクトは脳卒中等の生活習慣病予防に効果のある

Action（体を動かす） Check（健診を受ける） Eat（健康に食べる）に取り組む健康づくり県民運動の名称です。